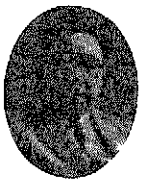
まき

発行所
西蒲原郡
巻町公民館
発行責任者
樋口弘雄
印刷所　北斗印刷株式会社

# 清新にして積極的な政治

巻町長　河治　忠



みなさん明けましておめでとうございます。

希望のもたれました一九六一年の新年を数日来、降りしきる雪の中でむかえました。

戦後十数年めっきり降雪の量もへり、もう越後には雪がないという観念が私共に雪による被害や、そのおそろしさを忘れさせておりました。現実のこの豪雪を眼のあたりに考えさせられますことは、物事すべてなれて参りますと、どこか気のゆるみ、心のゆるみを生じ、それに備えることを忘れがちになります。

昔から「災害は忘れたころにくる」という言葉がある。

雪国越後として当然の備えが怠たっておったと思います。

町政を担当して六年、仕事の上でそうしたことのないよう充分留意してゆかねばならぬことを、この度の雪におしえられたような気がいたします。

本年も町政担当の一年目だという清新な気持で町政に臨んでいきたいと存しております。

世界の主導権を握るといわれる米国の大統領に四十三才という若いケネディが登上して参りました。世界的の動向として政治に若さと清新さが求められているようであります。私もこうした世界の動きにおくれをとらず、今年も清新にして積極的な町政を施行して参りたいと存じております。

黄金の年といわれた一九六〇年に大きな期待と希望がもたれましたが日本の国内外を問わず決して明るいものではなかったようです。灰色に覆われた世界といった感がいたします。

今年こそ世界が、日本が、そして巻町が真の黄金にいろどられる明るい年でありますように念願いたしております。

## 誓いのことば

私達五六二名は本日成人として、社会の皆様より大きな期待と祝福をうけ、この意義ある式典に参列することができました。深い感銘と喜びの一日であることは終生忘れ得ません。

今日から私達は、育まれたこの郷土をよりよくするために各々の本分をつくしてよき社会の一員となることを誓います。

昭和三六年一月吉日
成人者代表
山下　チヨ

## 心のともしび

（先人の言葉）

武者小路実篤

僕は、やはり正義の観念の強い、信ずることを行う人間が好きだ。しかし、できるだけ他人の迷命を尊敬するものが好きだ。何んといったって聖人や、神のような人は偉い。一時的の波瀾のため浮き沈みする人間は尊敬することはできない。それから残酷な冷たい人間は嫌いだ。いつも損をしないことばかり考えているのも嫌いだ。

J・S・ミル

国家の価値は結局のところそれを構成している個々人の価値である。

洪　自誠

晴れた青空がにわかにカミナリ、いな光り、雨風のあらしが、まもなく晴れて月が照る。天地のはたらきはこだわりがない。大空はすこしも行きづまりがない。人の心もそうありたいもの。

ロマン・ローラン

万人と一体になる喜び、万人とともに愛する喜び、万人とともに苦るしむ喜び　われわれは互に手を握り合う！　友情の踊りの輪を作ろう！

エマーソン

知識と勇気とは、偉大なる仕事をつくる。この二つが人間を不朽たらしめるものである。

下村湖人著
「次郎物語」より

「僕、これまで人に可愛いがられたいとばかり考えたのが悪るかったんだよ、人に可愛がられるよりも、人を可愛がる人間になりたいと思うよいつか、僕、ばあやにやった手紙に人に可愛がられなくとも、独りで立っていけるような強い人間になりたいって書いたと思うんだけど、あれだけではいけないんだよ。ほんとに強い人間になるには、人を可愛がらなくっちゃ駄目なんだよ。僕たちの校長先生は、いつもそういってるよ」と次郎はばあやにいうのだった。

## 笑の実

▲豪雪で明けた今年の元日新聞も電気もなく何か不気味な気配を感づる。▲ここ十数年来ほとんど雪のない冬を過した故か雪に対する観念もうすらぎ、もう越後には雪がないという安易な生活態度が、かってならそれに対する当然のかまいを怠たり予想以上の大事を招来した。▲とかく物事になれると安閑とした生活に流れやすい。これをいましめた言葉に「災害は忘れたころにくる」先人ののこしたこの教訓を単なる教訓とせず二度とこうした大事はさけてゆきたいものだと思う。▲年に一回その消息をしらせてくる年賀状も今年は雪のために元旦から毎日少しづつ送られてくる。その一枚一枚、書体に文章にそして工夫された彫刻あるいは印刷など、その人なりがあらわれていて、なつかしく楽しいものである。▲いわく牛歩に学ぶこの年を…とか、静かなる反省から今年こそ牛歩に学び驚異にとか、十二支に登上する牛は実に律義で足がのろい、牛の律義さには学ぶ点はあるがスピードのあるべきか）講義（青年団のあり方）部落民との話合い。第二日目（二十八日）分科会レクリエーション
第三日目（二十九日）分科会まとめ報告討議、指導評価、閉講式、散会
申込は一月十五日詳細については公民館又は単位団長にきえて下さい。

点でどうもなどの外、今年は丑の年、鈍重の代名詞をつけられ熱々と働く牛は、世の中には目立たない存在である。だがその重厚な歩みと、牽引力は逞しく立派であり類をみない。経簿で浮気で虚栄の過巻く人間社会にも牛のような存在が必要ではなかろうか、といった律義で一つ一つ着実なあゆみをつづける牛をたたく人間もそうありたいと希うたくいが多い。▲この年の始めに私達人間社会の生活態度を天がきびしくいましめ、十二支の丑が静かにさとしているような気がするが。

（北川）

## 成人を祝す

### 青年重ねて来らず　一日再びあしたなり難し

陶淵明

合併以来七回目の成人式を迎えました。昭和十五年四月二日から十六年四月一日までに生れた二十才の青年五六二名の方々が心身共に立派な成人として社会に伍してゆかれることは、私共巻町としても心強い次第で心からお祝い申し上げます。新しい教育を身につけた皆さんの今後の活躍に期待しております。

満二十年という年ほど人生にとって大きな意義を持っている年はないと思います。

何故ならばいままでは未成年者として、法律上は一人立ちできない人だったのです。もう皆さんは家庭でも、社会でも、自分の自由な意志にもとづいて行動できるようになりました。同時に皆さんの独立した自由な人格は、常に重大なる責任を背負っていることを忘れてはなりません。もし「私の自由です」というわけで軽はずみな結婚をしたらどういうことになりましょう。きっとその結婚は不幸なものとなり、自分は勿論周囲の人達をも不幸に泣かせる結果になるでしょう。又「私は自由です」と、いいかげんな選挙をしたらどうゆうことになるでしょう。ようやく国際社会に進出した日本に質の悪い国会議員が選出されては、日本の運命はかえって下ってゆく結果になりましょう。日本のホープである皆様に責任ある立派な行動をとっていただきたいと思います。

「人間の価値」ということはその人が「お役に立つ人」という点できまるのではないでしょうか。職場でも家庭でも又学校でもどうか学びつづけて、役に立つ人であって下さい。それで正しいことがすきな人となって下さい。正義を追求し、隣人を愛し又人からも愛される人柄、そういう人であって下さい。

どうぞ皆さんこれからの人生航路には決して順風帆に満ちた日だけではないと思います。二十才の情熱と誰れにも負けない正義感をもって大いに頑張っていただきたいと存じます。

## 巻町青年講習会開催

### 福井長福寺で

巻町教育委員会巻町公民館、巻町連合青年団主催第六回青年指導者講習会は来る一月二十七日より二泊三日にわたり福井長福寺に於て開催

▼講習会のねらい　民主的に健全な歩みを続けてきたとはいいながら、近時急激に変遷する社会構造に処して、より以上に団員個々の認識を深め魅力ある青年団、町民から愛される青年団として活動するには、どのような事業や運営をしたらいいか、そうしたことについてお互の研修の場としたい。

▼内　容　討議法（講義、実技）青年団の運営と事業　青年団の学習活動　その他指導者として必要な知識と技術

▼講　師　県社会教育主事亀山宋松殿　元郡連合青年団長篠沢進殿　元郡連合青年団長本間昭一殿その他

▼参加者　現在巻町連合青年団員で部落青年団の役員として単位団長推薦するもの。

▼日　程　第一日目（二十七日）開講式、オリエンテーション、講義（討議法）討論会（青年団の学習活動はいかに

## 全国表彰に輝く

農業委員会法が施行されてから十年目を迎えた全国農業会議所及新潟県農業会議では農業委員として功績のあった（十年勤続委員）次の方々に表彰状を贈りその功を讃いた。

阿部東一　竹野町
山下松市　越前浜
吉川与一　福井
斎藤政六　角田

## 雪の処置について

殘にみる豪雪に見舞われ交通も意のままにはゆかず、日用品も物によってずい分と高値をよんでいるようでお互に閉口しております。特に今年の雪は気候の関係で雨気を含んでおるようでありますので屋根の雪下しは早目に実施して下さい。学校や工場の倒潰が目立っております。雪の処置については充分交通のさまたげ、特に火災時の消防車出動もありますので注意していただきたいと思います。冬は特に火気を扱いますので火の元は充分に御注意をお願いしますと役場及消防署では望んでおります。

# 教育と私の願い

教育長　江端一郎

新年お目出度うございます。昨秋非才な私が教育行政の大任を拝しまして、早々にしてここに新年を迎えて覚悟また新たなるを覚える者でございます。

教育に対する私の根本的な考え方としては「教育もまた法の下にあって適正に行なわるべきである」ということであります。教育基本法に示す教育目的の達成のためには常に合法適正な手段を選び敢然と精進いたしたいと存じます。

先般諸橋轍次先生の書に「聖賢之意を以て聖賢之書を観じ天下之理を以て天下之事に処す」とあるを拝見し、また湯川博士の歌に「物みなの底にひとつの法ありと目にけに深く思ひいりつつ」を拝読し私の就任時における心構えこそ、これと銘肝いたしました。聖賢の意、天下の理、万有を貫く理法。教育の根源も、またここにあるかと思わるるのであります。

巻町には現在五の中学と八の小学校がありますが各学校にはそれぞれの特色があり、それぞれに教育成果を挙げております。私はその特色を重視いたしたいと考えております。戦後は国定教科書もなくなり教材も指導要領もそれ特色あり伝統深い学校からは薫高い人格を持った人物が輩出することを強調いたしたい。そして教職員諸氏も深く思いをここに致し我校の特色発揮に全幅の努力を傾けていただきたいと念願いたします。

終戦に伴なうあの混乱から既にして十有五年の月日がたちふり返って見ますと今日の平和な日本を築き上げた大きな力の一つは社会教育だったと思います。軍隊がなくなった後の青年をどのように導くかと危惧されたものですが現実の姿は如何でありましょうか。社会教育の組織化と実践深く思いをここに致し我校の特色発揮に全幅の努力を傾けていただきたいと念願いたします。

ふり返って見ますと今日の平和な日本を築き上げた大きな力の一つは社会教育だったと思います。軍隊がなくなった後の青年をどのように導くかと危惧されたものですが現実の姿は如何でありましょうか。社会教育の組織化と実践

# 青年の主張大会など

巻町連合青年団

巻町連合青年団主催の三つの行事が去る十二月十一日、巻農高校研修館で開かれた。

▲青年の主張大会

一位青年団における社会活動、永田源（仁饅青）二位青年団における社会活動佐藤ミヨ（布目青）二位日記をつけよう堀川綾子（松野尾青）三位青年団における私と家庭山賀重子（松野尾青）三位生活改善と青年の歩み河村力（松野尾青）三位農村の共同化に思う伊丹テイ（松野尾青）以上入賞者全員来る二十五日の郡大会に出場する。

▲産業実践発表大会

一位西瓜栽培について山下清治（越青）二位播種量による生育調査石田守（並青）山下君が郡大会に出場する。

▲実物鑑定競技大会

○団体戦一位仁饅青二位松野尾青▲三位並岡青

○個人戦一位八二点鎌城徳一（仁青）二位七九点大橋保子（仁青）三位七五点河村力（松青）来る二十一日～二十三日南蒲原田上村において開催される県青年問題研究修会に巻町から次の二名が参加する。小杉勲（越青）石山ミイ（仁青）

# 国民年金が改正になります

国民年金課

国では国民年金法の改正を急いでおります。次の国会において改正されることは間違いないようでありますので未届の方は至急に役場の厚生係にお届け下さい。

▼改正される主な内容

①きょ出制国民年金の保険料の掛け捨てを防ぐため被保険者の遺族に対し五千円から五万二千円まで（保険料納付済期間三年以上四十年未満の者）の死亡一時金を支給する。

②老令年金の受給資格要件たる期間を満たした者で六十才をこえ六十五才をこえない任意の時期に老令年金を受けることを希望したときは（政令で定める額を差引いた減額年金）その者が死亡する迄支給する。

③障害、母子、遺児年金については昭和三十六年四月一日から昭和三十九年四月三十日までの間に事態が発生し一年以上保険料を納付済（但し保険料免除期間が六カ月未満である場合も含まれる）の者も特例を以って支給される。

# 日記をつけよう

（青年の主張大会より）

松野尾　堀川綾子

一年の計は元旦にありという諺があります。私達部落の「母達」や「婦達」を見てます

ている人が非常に少ないという人が非常に思います。見よう見まねで人まねの百姓が多いからだと思います。私は今、毎日、日記をつけています。この私が日記をつける動機になったものは次の三つからです。その第一は、あんまり百姓が忙しいので一体サラリーマンと比べ、どれだけよけい働いているかを知りたかったこと、第二は、貰っている金を使っているのかということ、第三は、人まねの百姓ではなく自分も記録をつけて見ようと思ったことなどからです。

「日記か、あんなもん、朝めし前だわや、二分か三分もあればつけられるもん」と馬鹿にしていたが、夜映画があったり、やま仕事で疲れていても「隣りの家で豆をまいたからおら家でも」とか「隣りの家で肥やしをしたからおらうちでも」という人が多いのです。農村には、まだまだ日記とか簿記とか書き残したものを土台にして百姓をし

いのです。農村には、まだまだ日記とか簿記とか書き残したものを土台にして百姓をし

「日記」はおろか家計簿をつけている家が少ないように見うけられます。

私の家は何十年も百姓をしてきていますが何の記録も残されておりません。現在はテレビを見たり耕耘機で仕事をしていても「隣りの家で豆をまいたからおら家でも」とか「隣りの家で肥やしをしたからおらうちでも」という人が多

なく自分も記録をつけて見ようと思ったことなどからです。

「日記か、あんなもん、朝めし前だわや、二分か三分もあればつけられるもん」と馬鹿にしていたが、夜映画があったり、やま仕事で疲れていても「隣りの家で豆をまいたからおら家でも」とか「隣りの家で肥やしをしたからおらうちでも」という人が多

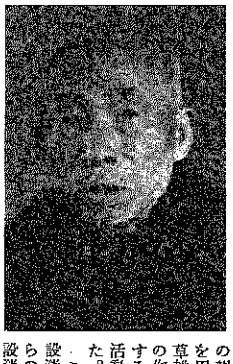
は、人まねの百姓ではなく自分も記録をつけて見ようと思ったことなどからです。「日記か、あんなもん、朝めし前だわや、二分か三分もあればつけられるもん」と馬鹿にしていたが、夜映画があったり、やま仕事で疲れていても「隣りの家で豆をまいたからおら家でも」とか「隣りの家で肥やしをしたからおらうちでも」という人が多

私は今、本当に日記を持つのが嫌になって途中に止めてしまうこともある。また思い立って書いてみたり、仲々思うように日記を書き続けることができませんでした。でも気を取り直して初めの時の気持ちになって「書こう、石の上にも三年だ」と歯をくいしばって、やっと一カ月続けた。そしてもう一カ月がんばろう、そしてもう一カ月と根気強く続けているうちに知らず知らずねる前には必ず日記をつけるようになりました。今年でもう三年、ある時など、私の日記を見て「去年の七月二十五日に早生稲に予防しったれ」というと家の人は「おりそうか、今年もまた予防しておこうか」といわれたときなど、日記がこんなときのためになるんだなあと、私のこの胸は躍り、嬉しくて躍しくてなりませんでした。先日、煙草を出し終えた私は日記帳を読み返してみました。一番忙しかった七月から八月にかけては休みの日をよせても一人一日平均十二時間余りも働いていています。また比較的ひまな一月、二月でも一日八時間近く働いていることがわかりました。それから私が使うお金のうち、こずかいだけでも一年間に九千円ちょっと使っていたこともわかりました。また妙高山へキャンプをした時の日記に山頂の写真を一枚はっておきましたが、あとで読み返す時、当時のことが一層なつかしく思い出されます。私は今、本当に日記をつけていてよかったとよろこんでいます。特に農村に残り農家に嫁ごうとする方々に日記をつけられるようおすすめします。若いうちに日記をつけるくせを身につけて下さい。農村は今、テレビ、電気洗濯機、耕運機、三輪車と生活も文化的になりました。しかし、農村にもう一つ必要なものがある。それは農村女性の進歩することだと思います。「考える新しい女性」に生まれ変わることです。文化が進めば進むほど、しっかりと家庭を守ってゆかねばならない私達農村女性が日記も家計簿もつけないで昔のままの女性でありてはいつまでも明るい楽しい本当の文化生活は望めないでしょう。私は一生農村で働いて行く覚悟です。そして日記も家計簿も立派につけて、町のサラリーマンの奥さんに負けない、立派な農村女性になろうと思っております。皆さんにも日記をつけられるようおすすめいたします。

# 巻町の年輪 (1)

## 煙草耕作の先駆者

岩崎喜作氏　明治11年11月25日生



「俺ら若い頃から百姓道楽でして……」血色のよい、だくましい面ざしの喜作老は今年夫婦そろって八十四才になったという。いわゆる煙草地帯の土性骨を身につけたこの村のすぐれた先駆者、功労者である。

赤塚煙草組合が発足した大正五年以来耕作者の一人として指導員をつとめたが、単なる実益指導のみでなく耕作者の親睦にも意を用い、「煙草耕作民謡」の作詩を募集するなど文化活動もおこした。

この外、私設消防時代からの幹部で公設消防の立役者の一人、村議も四期つとめたが、いわば実力者というよりも、進取的活動家、世話役という理の人。

農事の傍ら公事も多彩なら趣味も多彩。若い頃から俳句をよくし、菊づくりはこの村の始祖といった存在で、近年は短歌を勉強する。本人は新しがりやだいうが、そのせいかこの歳になってもとしよりのヒガミやガンコさはみじんも感ぜられないし孫達には理解あるおぢいさんだ。

「戦争で息子を死なし、父を失った孫七人を育てるのに隠居気どりの余裕はなかった」と語る老は、壁に貼った自作の歌を示された。

なが生きの徳や時代にさそわれて　テレビ見ながら
ひ子と正月　八十四才恭斉
（石山記）

# 町民講座

巻史学会では去る十一月年後七時三十分より赤さび公会堂に於て猪俣太三郎さん外三十名の参加を得て赤さびの昔々について語りあった。

## 社会保険の家族は役場へお届け下さい

国民健康保険法の改正により四月一日より社会保険（職場保険）の家族（被扶養者）は国保より除外されますのでまだ届けてない方は職場の被保険者証を御持参の上御届け下さい。……役場国保係

## 編集後記

平穏の冬になれた私達に突如として襲いかかった豪雪、正に寒平の夢、破れた感、起後の宿命、雪に対するかまいをすっかり忘れていたようである。町長さんがいっているように単に町政だけでなく私達人間社会に対するいましめでもあったようである。

年末から正月にかけて雪の列車にとじ込められた公民館のT主事が「とにかく、この四日間を通じて人間のみにくさの数々をいやというほど、せつけられた」という。

旅の恥はかき捨て、道徳心など程遠い話のこと、そして強い者がはばをきかせ、嫌な顔でもしようものなら刃物を抜いてすごんでいたとか。

そうした中でT君等の提案で丙ごれた列車内を清掃、始め四、五人の協力者がついには数十人にふくれ上って実施したという……。

私達は何か教えられるものがあるような気がする。正しく生きることのむつかしさと、勇気のいることも。

グループの集会だ学級だと冠婚出歩く私達は全く閉口である。交通も思いにまかせず加えるに日用品もその物によって随分と高値をよんでいるとか。

よわり目にたたり目という。これ以上の事故があったではたまらない。寒さにしたがって火気をつかう。火の元は充分に注意していただきたい。（北川）